

### 公共交通不便地域対策の取組み状況について

「新たな公共交通不便地域対策の導入」に向けた現在の取組み状況について、下記のとおり報告する。

#### 記

#### 1 砧モデル地区における需要予測アンケート調査の状況

運行ルート沿線 200m の番地に在住の方から無作為抽出し、アンケートを実施した。

(1) 配布数 3,000 票 (内 1,500 票は 65 歳以上)

(2) 回収数 1,122 票 (回収率 37.4%)

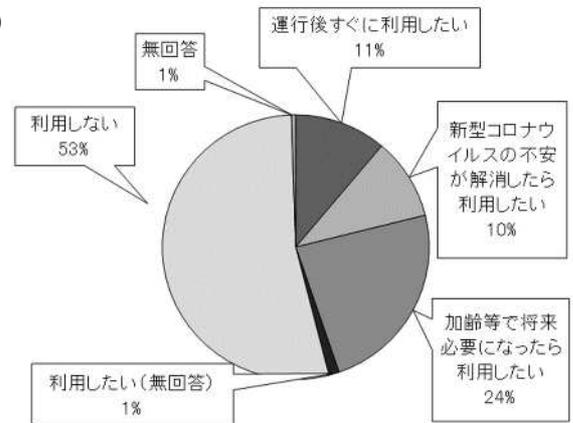
(3) 回答の速報値 (利用意向を確認する設問抜粋)

利用したい 516 票

【内訳】運行後すぐ利用したい	125 票
新型コロナウイルスの不安が解消したら	112 票
加齢等で将来必要になったら	265 票
時期無回答	14 票

利用しない 600 票

無回答 6 票



#### (4) 今後の予定

令和 2 年 10 月 アンケート結果に基づく収支予測等の分析

11 月 公共交通機関対策等特別委員会(アンケート結果等の報告)

#### 2 民間事業者主体の取組み

政策経営部経営改革・官民連携担当課を介し、トヨタモビリティ東京株式会社より、地域の移動環境の改善に官民連携で貢献したい旨の提案があった。本提案は店舗活用を想定していることから、関連店舗がある喜多見・宇奈根地区を対象とした事業提案となっている。

( 1 ) 提案内容

項目	内容
事業主体	トヨタモビリティ東京株式会社
事業内容	新たな地域交通トライアル(実証実験) 朝の通勤時間帯におけるバス停送迎サービス 日中時間帯におけるオンデマンド交通の運行 MaaS( )を見据えた新たな地域交通の可能性を確認していく MaaS: 別紙 国土交通省資料のとおり
提案地域	喜多見地区・宇奈根地区(今後対象丁目等を調整)
期間等	令和2~3年度 令和2年 8月~ 地域ニーズの詳細把握・分析等 年内中に無償トライアル開始予定 令和3年度 有償トライアル 適宜、地域公共交通会議に報告
その他	トヨタ・モビリティ基金(最大2年間)を活用 区による補助金支給等を行わない。

( 2 ) 現時点の区の関わり

トライアルの一環として提供される移動サービスが、地域の移動環境に大きな影響を与える可能性があることから、以下のとおり関わっていくこととする。

トライアル(実証実験)に必要な地域との合意形成や関係機関への各種協議等を支援する。

事業者による利用状況の分析、効果検証等を踏まえ、オンデマンド交通等、定時定路線型とは異なる交通手段に関して、他地区への展開の可能性を確認していく。

## MaaS とは

MaaS（マース：Mobility as a Service）とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

